

西松建設 第14回無担保社債 サステナビリティ・リンク・ボンド インパクトレポーティング

2026年9月30日

KPIの進捗状況

		2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
KPI 1 スコープ1+2におけるCO ₂ 排出量削減率	スコープ1 実績(t-CO ₂)	34,356	25,403	20,300	26,500	29,000	35,300
	スコープ2 実績(t-CO ₂)	35,869	34,963	22,700	14,500	14,200	12,400
	スコープ1+2 実績(t-CO ₂)	70,224	60,366	43,000	41,000	43,300	47,700
	基準年からの 削減率	—	14.0%	38.8%	41.6%	38.3%	32.1%
KPI 2	実績 (t-CO ₂)	3,191,751	2,481,159	2,406,000	1,673,200	2,194,600	1,132,400
スコープ3 (カテゴリー11) におけるCO ₂ 排出量削減率	基準年からの 削減率	—	22.3%	24.6%	47.6%	31.2%	64.5%

環境データ：<https://www.nishimatsu.co.jp/esg/environment/date.html>

独立第三者の保証報告書



独立第三者の保証報告書

2026 年 6 月 11 日

西松建設株式会社
代表取締役社長 細川 雅一 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所
代表取締役 福島隆史



1. 目的

当社は、西松建設株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2025 年度の国内外グループ CO₂ 排出量（スコープ 1）35.3 千 t-CO₂e、（スコープ 2 ロケーションベース）26.2 千 t-CO₂e、（スコープ 2 マーケットベース）12.4 千 t-CO₂e、（スコープ 3 カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7,11,12,13 計）2.26 百万 t-CO₂e、エネルギー消費量 286GWh、廃棄物排出量 411 千 t、取水量 881 千 m³、会社単体の女性管理職比率（2026 年 3 月末）1.01%、男性育児休業取得率 98.8%、度数率（2025 年度・休業 4 日以上対象）0.81（以下、総称して「パフォーマンス指標」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、パフォーマンス指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2. 保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。

当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・ 算定方針について担当者への質問
- ・ 算定方針の検討
- ・ 算定方針に従ってパフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- ・ 建設現場往査

3. 結論

当社が実施した保証手続の結果、パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上